



第5節 すべての主体が参加する美しく快適な県づくり



1. 県民総参加による環境保全活動の推進

【現 状】

◆環境保全活動の取組

大分県の美しい自然と快適な環境を守り将来に継承するため、地域における身近なごみ拾い活動から、3Rの推進、地球温暖化対策まで、広範囲にわたる環境問題に県民総参加で取り組む「ごみゼロおおいた作戦」を展開し、さらに平成28年度からは、環境保全活動を通じて地域活性化を図る「おおいたうつくし作戦」に取り組み、環境に配慮した美しく快適な大分県づくりを進めてきました。

毎年、環境月間（6月）と環境美化の日（8月）を中心に県内各地で様々な環境保全活動が行われており、「キャンドルナイト[※]」、「県民一斉おおいたうつくし大行動[※]」に、多数の県民が参加するなど、取組が着実に広がっています。

また、本県は優れた自然景観や多様な野生動植物など豊かな自然環境に恵まれており、これを守るための活動や体験学習などが盛んに行われています。

◆環境保全団体の活動状況

地域の様々な環境問題の解決を目指して、多くの団体が環境保全活動に取り組んでいます。

おおいたうつくし作戦の牽引役であるごみおおいたうつくし推進隊は、令和元年8月末現在で累計172団体となり、また、身近な清掃活動や花いっぱい運動などに取り組むうつくし隊は154団体結成され、それぞれ地域の環境保全活動を実践しています。

【課 題】

- 「おおいたうつくし作戦」のさらなる浸透を図り、県民総参加の取組として拡大していく必要があります。
- それぞれの地域で、環境課題の解決に向け、様々な主体が参加する環境保全活動を活性化、拡大していく必要があります。
- 県民一人ひとりの環境意識を高めるとともに、自然体験活動などを通じた人材の育成が必要です。
- 地域の環境保全活動の牽引役である「おおいたうつくし推進隊」は構成員の高齢化や新規加入者の減少などにより、全体として活動が縮小傾向にあり、地域の様々な主体や若い世代を巻き込むなど活性化を図る必要があります。
- 「おおいたうつくし推進隊」などが行う地域の環境保全活動を活性化するためには、県や市町村による情報発信や適切な支援が求められています。



【これからの主な取組】

(1)地域活性化につながる環境保全活動の推進

本県の恵み豊かな自然と快適な地域環境を守り育て、将来の世代へ継承するため、環境保全活動を通じて地域活性化を図る「おおいたうつくし作戦」により、県民意識のさらなる醸成と持続可能な活動基盤づくりに取り組みます。

①地域の活性化（まちづくり）

- 自主的に環境保全活動を実践する機運を醸成するとともに、一人ひとりの小さな取組が地域の環境のみならず、地球の環境をも保全するものであるという意識の啓発を図るため、「キャンドルナイト」や「県民一斉おおいたうつくし大行動」などの取組を一層推進していきます。
- 春は緑のカーテンによるエコ花ライフ、夏は打ち水によるエコ涼ライフ、秋はエコクッキングによるエコ食ライフ、冬はエコ暖ライフに取り組む「四季折々キャンペーン」を推進します。
- 「おおいたうつくし推進隊」が実施する地域への波及効果が大きく期待できるうつくし活動等を支援します。
- 環境保全団体等の自発的な活動を支援するため、ホームページや各種メディア等を活用し、各団体の活動状況等の情報提供や広報を行います
- 環境美化や環境技術の開発などに貢献のあった個人や団体、企業を顕彰し、環境保全活動を県内に拡大していきます。



キャンドルナイト（日本文理大学附属高等学校）



緑のカーテン

②人材の育成（ひとづくり）

- 県民一人ひとりの環境に関する意識を高め、主体的に行動する人材を育むため、子どもから大人までのあらゆる世代、家庭、学校、職場、地域などあらゆる場における環境教育を推進します。
- 子どもを対象とした自然体験活動などを行う団体を支援するとともに環境学習の推進を図り、環境保全活動の新たな担い手を育成します。



③持続可能な活動基盤づくり（なかまづくり）

- おおいたうつくし推進隊の活動を活性化するため、ボランティア団体等で活動するシニア層を推進隊員に誘引し、企業や学校等の継続的に活動を行える基盤を持つ団体を取り込むなど、担い手の拡大を図ります。
- おおいたうつくし推進隊等の環境保全団体が情報交換や交流を行う場を提供して、各団体の取組の幅を広げ、また、他団体との連携を促進します。
- 地域の環境保全団体や行政が、課題や取組について情報を共有するとともに、新たな団体の掘り起こし等を行い、各団体が活動しやすい環境づくりを推進します。
- 環境保全ネットワーク*づくりを推進するため、ソーシャル・ネットワーキング・サービス*や各種メディア等を活用し、団体相互の情報交換・情報共有などを行います。



なかまづくり推進事業での花いっぱい運動

(2)環境に対する意識の醸成と具体的な行動への促進

- 各世代やターゲットに応じた具体的な取組をわかりやすく伝え、県民総参加による地球温暖化対策及び家庭、業務、運輸各部門における二酸化炭素排出抑制対策を推進します。
- 各世代に間断のない普及啓発を行い、うつくし推進隊やうつくし隊、環境教育アドバイザー、地球温暖化防止活動推進員、地球温暖化対策地域協議会等への参加を促すとともに、環境課題をより身近に実感し、地球温暖化対策等への具体的な行動につなげます。

(3)県、市町村の率先行動の推進

- 事業を実施するにあたり、環境に対する影響に十分配慮するとともに、環境への負荷の少ない製品の購入やごみ発生抑制・リサイクル、省資源・省エネルギーの推進などの環境負荷低減のための具体的な行動を市町村と協働し、県自ら率先して実行します。
- 職員の環境に対する意識の向上に努めるとともに、職員が進んで環境保全活動に参加する職場風土の醸成を図ります。

指標項目	単位	基準年	現状	目標
		H26	H30	R6
県民一斉おおいたうつくし大行動への参加者数	人	354,556	378,272	404,000
キャンドルナイトへの参加施設数	団体	2,765	3,166	3,368
環境基本計画策定市町村数	市町村	9	12	13



2. 豊かな環境を守り育てる人づくり

【現 状】

◆大分県環境教育等行動計画の推進

本県では、すべての県民が自主的・主体的・継続的に環境保全活動に取り組むことを促進するため、平成12年3月に「大分県環境教育・学習基本方針」を策定し、環境教育・学習を総合的・計画的に推進しており、県民一人ひとりの環境に関する意識の向上を図ってきました。

平成23年6月に、環境保全活動や環境教育を一層推進するため、「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が改正され、「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」（以下、「環境教育等促進法」という。）が平成24年10月に施行されました。これを受けて、県では、環境教育等に関し方向性及び具体的施策を示し、それを総合的かつ計画的に実施するため、平成26年3月に「大分県環境教育等行動計画」を策定しました。

その後、おおいたうつくし作戦がスタートした平成28年度には、同計画にNPOとの協働や学校教育における環境学習の充実を加え、「第2次大分県環境教育等行動計画」としての改定を行いました。

環境教育を取り巻く状況は、平成30年6月の環境教育等促進法基本方針の改定や地球環境問題をめぐる国際社会の動きなど大きく変化をしていることから、こうした変化を踏まえた「第3次大分県環境教育等行動計画（仮称）」の策定に取り組むこととしています。

※環境教育：

持続可能な社会の構築を目指して、家庭、学校、職場、地域その他のあらゆる場において、環境と社会、経済及び文化とのつながりその他環境の保全についての理解を深めるために行われる環境の保全に関する教育及び学習。

※環境教育等：

「環境保全活動」、「環境保全の意欲の増進」、「環境教育」、「協働取組の推進」の総称。

◆環境教育等の取組

環境教育を推進するため、学校においては、環境教育実践事例など環境教育に関する情報を体系的に整備するとともに、教員の研修の実施などを通して、児童生徒の環境への意識の高揚と体験的な取組を行っています。

また、地域においては、市町村ごとの環境保全活動のほか、事業者や民間団体等が環境に配慮した様々な活動に取り組んでいます。

さらに、企業においては、環境教育アドバイザーによる環境講座を開催するなど、従業員に対する環境教育を実施しています。

◆環境教育支援者の現状

令和元年度現在、県が委嘱した63名の環境教育アドバイザー及び73名の地球温暖化防止活動推



進員、各地域で組織された18団体の地球温暖化対策地域協議会、環境省が登録している49名の**環境カウンセラー***などが、それぞれの役割のもと環境教育の推進に取り組んでいます。

◆森林環境学習指導者について

九重青少年の家では、平成18年から平成22年まで、体験型環境教育のスペシャリストとして、108名の森林環境学習指導者を養成してきました。養成した森林環境学習指導者は、九重青少年の家及び香々地青少年の家の利用者に対し、体験活動を通じた環境教育の推進に取り組んでいます。

【課題】

- 環境問題に関心を持ち、環境に関する意識を高め、主体的に行動することができる人づくりが必要です。
- 地域社会における自然体験活動の場や機会の充実を図るとともに、地域の資源を学習素材として活用する必要があります。
- 家庭、学校、地域社会、職場等が連携を図りながら、ふるさとへの誇りや将来への夢をもって、積極的な環境保全活動や環境保全意欲の増進など環境に関する様々な視点により、さらなる環境教育を進める必要があります。
- 自然体験や生活体験は、子どもの規範意識や人間関係能力等の育成に大きな影響を与えていると考えられています。そして、子どもは自然や人との関わりの中で、命の尊さについて学ぶことができます。これらの基盤は、青少年期に様々な体験を通してつくるのが大切です。他者や生き物への配慮を含め、社会全体を考える人間を育むため、教育的視点に裏打ちされた自然に触れる幅広い体験が求められています。

【これからの主な取組】

(1)あらゆる世代・場における環境教育の推進

①学校等における環境教育等の推進

- 未来を担う子どもたちが、楽しみながら環境問題に関心を持つよう、幼児向け環境劇の実施など、幼児期からの環境教育を推進します。
- 家庭や地域と連携し、各発達段階に応じた体験的な環境教育の実践や環境に対する意識の高揚に努めます。
- 地域の特性を生かした環境学習や環境教育アドバイザーによる環境講座など、学校における環境教育を推進します。



レジ袋収益金を活用した幼児向け環境劇巡回公演



- 地域の人材を生かして学校教育を支援する仕組みである「協育」ネットワークの活用を推進します。
- 各教科、特別活動、総合的な学習の時間など、学校の教育活動全体を通じて環境教育の推進に努めます。
- 森林環境学習指導者等のスキルアップのための研修を実施し、環境教育・学習の充実に努めます。

②家庭、地域社会における環境教育等の推進

- 環境について学ぶ県民参加の学習機会を充実し、家庭の中で環境について話題にし、環境に配慮した暮らしを実践する機運を醸成します。
- 県立施設や公民館、青少年教育施設、森林や自然公園等を活用した講座や自然体験活動を実施するとともに、自治会や子ども会、老人クラブ、NPO、**こどもエコクラブ***等の学習会など地域における環境教育を推進します。

③職場における環境教育等の推進

- 事業者の環境への取組を推進するエコアクション21の導入を促進するほか、環境教育アドバイザーの派遣など、従業員に対する環境教育を推進し、環境に関する情報の提供に努めます。

④NPO等との協働による環境学習の機会の提供

- NPO等多様な主体との連携により、環境に関するワークショップやイベントなどのほか、展示会、自然観察会など参加型の環境学習の機会の提供を図ります。
- 事業者や地域住民が、地域課題を共有及び理解するとともに、それぞれの立場で環境に対する取組を行い、互いに連携できるよう、NPO等との協働に努めます。



こども探検団推進事業でのピオトープ体験活動

⑤環境教育を推進するための教材の整備と情報の提供

- 環境教育に関する教材等の整備と活用に努めます。
- 本県の環境や環境保全の取組、環境教育に関し、県・市町村の広報誌やホームページ、マスメディア等により積極的にわかりやすく情報提供します。

(2)環境教育・啓発を担う人材の育成と活用の促進

①環境教育アドバイザーの育成と活用

- 環境に関する専門的な知識、経験を有する環境教育アドバイザーなど環境教育を推進する人材の育成と確保に努めるとともに、PTA等に制度の周知を行い、活用の拡大を図ります。



- 環境教育アドバイザーを対象に、環境に関する最新情報の提供や環境教育アドバイザー相互の情報交換や事例検討などの研修会を行い、指導者のレベルアップを支援します。
- 環境教育アドバイザーの活動を現地にて補助するサポーター制度を活用し、よりきめ細かく充実した体験学習等の実施に努めます。



環境教育アドバイザーによる講義
(日田市西有田公民館)



環境教育アドバイザーによる実技
(上浦女性学級)



環境教育アドバイザーによる講義
(別府大学)

②地球温暖化防止活動推進員の育成と活用

- 地球温暖化防止や省資源・省エネルギーに関する普及啓発、地域での取組を促進するため、地球温暖化防止活動推進員の研修等により人材育成を図り、その活動を推進します。

③森林ボランティア団体指導者の育成

- 森林づくり活動への参画の輪を広げ、県民総参加の森林づくりを推進するため、森林ボランティア研修会を開催し、森林ボランティア活動に必要な知識や技術を有する人材を育成します。

④森林環境学習指導者の育成と活用

- 青少年の自然環境に対する興味・関心や環境保全への意識を高めるため、森林環境学習指導者の活用を図ります。

指標項目	単位	基準年	現状	目標
		H26	H30	R6
環境教育参加者数（累計）	人	63,082	104,547	133,000
おおいた環境学習サイト「きらりんネット」年間アクセス件数	件	7,154	19,169	22,000